

中(中)功 なかのこう 政治評論家。明治四十三年九月十八日(二重縣)生れ、昭和四十八年八月十八日歿(一九〇一七三)。筆名大村達夫。昭和四年上海の東亞同文書院入學と、在學中反戦運動で檢舉。九年尾崎秀實の紹介で滿鐵入社。その後反戦運動を展開して十七年(上海)逮捕。二十年出獄、翌年中國研究所創設に参劃、共產黨入黨。二十一年参議院議員當選。二十五年黨中央批判で除名せられ、議員も解任。翌五年復黨。二十五年の安保闘争ではハガチ事件で逮捕。

譯書、河幹之著『支那の經濟機構』(小泉謙共譯、昭和十五年九月二十日岩波書店「岩波新書」)、また『中國共產黨史』ソヴェート革命時代』(内題「中國共產黨史」第三卷)、「ソヴェート革命」時代』(昭和二十一年九月)、二十日北斗書院)、『現代世界の史的構造』(他八名合著・東大歴史學研究会編、昭和二十三年十一月十五日東大協同組合出版部)、『中國共產黨史』(昭和二十四年五月、二十日首都社)他著書多數。

